更新クエリの作成

(その1) 来年(2003年とする)に年賀状を出す人を選ぶ(チェックマークを付ける)。

来年出す予定の人とは ・・・・ 2002年に年賀状を「受けた」人で、かつ現在「喪中」ではない人。

Q - 翌年送付者チェック

- (1) クエリの「新規作成」 「デザインビュー」を選ぶ。
- (2)「年賀状履歴テーブル」を2つ「追加」して「閉じる」をクリック。
- (3)両方の「住所録 NO」を線で結ぶ。 左側 = 今年(2002 年) 右側 = 来年(2003 年)
- (4) 左側から4つ、右側から2つのフィールドをドラッグして、次のように抽出条件を入れる。
 - 「左側」 2002 年 受けた = Yes 喪中 = No
 - 「右側」 2003 年 出した(抽出条件はまだ空欄にしておく)



(5)一度データ画面(データシートビュー)に切り替えて確認する。確認後、デザイン画面に戻す。 該当する人は次の3名。

	住所錄NO 年貨状層	慶テーブル。年	受けた	裏中	年賀状履歴テーブル_1.年	出した	
•	3	2002	2		2003		
	7	2002			2003		
	8	2002	1		2003		

(6)「クエリ」 - 「更新」をクリックする。

(7)下の段に表示された「レコードの更新」行の一番右の「出した」を Yes にする。

(8)「クエリ」 - 「実行」をクリックする。「×件のレコードが更新されます」が出たら「はい」。

(9)閉じるボタン(x)をクリックして、クエリを保存する。 Q-翌年送付者チェック

	住所録NO	年	出した	受けた	表中	
	1	2002	X	2	R	
	1	2003				
	2	2002	×			
	2	2003				
\square	3	2002		M		
	3	2003		L L	<u> </u>	「ケール」であって、ションを見いてな
\vdash		2002	H	H	M	・牛貝朳履歴ナーノル」を用いて唯
	4	2003		H	님	初する たの3 人の「2003 年、にチ
	5	2002	Ë.	H	<u> </u>	11193。土の3八の 2003 牛」に7
	6	2002	R	- H	H	ェックがついていればOK
	6	2003	Ö	ŏ	H	
	7	2002		2		
	7	2003	(🗹)			
	8	2002	\times	2		
	8	2003	(🗹)			
*	0	0	\bigcirc			

(その2) その次の年のために、喪中の人の2003年を「受けた」にしておく。

Q - 喪中

- (1) クエリの「新規作成」 「デザインビュー」を選ぶ。
- (2)「年賀状履歴テーブル」を20「追加」して「閉じる」。2つの「住所録NO」を線で結ぶ。
- (3) 左側から 3 つ、右側から 2 つのフィールドをドラッグして、次のように抽出条件を入れる。 「左側」 2002 年 喪中 = Yes
 - 「右側」 2003 年 受けた(抽出条件はまだ空欄にしておく)

🗐 クエリ1 : 減銀クエリ				
年賀式版 * 住所編NO 年 別た 要中	₩ <u>7</u> -Ĵ₩	年賀状層展テー * 住所編NO 年 出た 要中	2063	S S
フィールド、 テーブル 革べ替え 表示体 推出条件 または よ	-ブル 年賀法暦暦テーブル 2002 回 2002 年		1月月テーブル1 単質状態	

- (4)データ画面(データシートビュー)に切り替えて確認する。確認後、デザイン画面に戻す。
 該当する人は、住所録 NO が 1 4 5 の3名。
- (5)「クエリ」-「更新」をクリックする。
- (6)下の段に表示された「レコードの更新」行の一番右の「受けた」を Yes にする。
- (7)「クエリ」-「実行」をクリックする。「×件のレコードが更新されます」が出たら「はい」。 (8)閉じるボタン(×)をクリックして、クエリを保存する。 Q-喪中

	住所録NO	年	出した	受けた	喪中
•	1	2002	₹	¥	₽
	1	2003			
	2	2002	1		
	2	2003			
	3	2002		¥.	
	3	2003	✓		
	4	2002			
	4	2003			
	5	2002	1		
	5	2003			
	6	2002	1		
	6	2003			
	7	2002	✓	¥	
	7	2003	✓		
	8	2002		×	
	8	2003	1		
*	0	0			

削除クエリの作成

今年(2002年)の処理がすべて終わったら、レコードを削除してもかまわない。

Q - 今年の削除

(1) クエリの「新規作成」 - 「デザインビュー」を選ぶ。

(2)「年賀状履歴テーブル」を1つ「追加」して「閉じる」をクリックする。

(3)全項目を指定するので、アスタリスク(*)を一番左のフィールドへドラッグする。

🚽 ウエリ1 : 遠訳ウエリ		
冬.打状回展テーブル 住所編NO 年		1
出た 契北 裏中	"*"をドラッグ	2
フィールド: 年寅行復歴史 テーブル 年寅行復歴史 基ペ替え 表示 抱出条件 また」よ	-71/2* -71/2	

(4)「クエリ」-「削除」をクリックする。下の段に「レコードの削除」行が表示される。 (5) 左から 2 番目のフィールドに「年」をドラッグし、抽出条件に「2002」と入力する。

🚽 クエリ1 : 前川	除りエリ		
年竹秋	尾原テーブル		2
* 住所編集 年 、 出 た 要中	°		
フィールド デーブル レコードの神師 抽出条件	年賀初層歴テーブル* 年賀初層歴テーブル From	年 年賀初館 <u>開テ</u> ーゴ Where 2002	
\$104	<		2

(6)データ画面 (データシートビュー) に切り替えて確認する。確認後、デザイン画面に戻す。 (7)「クエリ」 - 「実行」をクリックする。「×件のレコードが・・・削除されます」が出たら「はい」。

全員の「2002」年のレコードが削除される。

(8)閉じるボタン(x)をクリックして、クエリを保存する。 Q-

Q - 今年の削除

「年賀状履歴テーブル」を開いて確認する。2002年のレコードがなくなっていればOK。

クエリ処理が一通り終わったら、P.215 に戻って、「追加クエリ」からもう一度練習してみる。 (下記ファイルをコピーして練習すること。また"年"の設定は Year (Date())を使ってみること) ¥¥akakura - public - jugyo - tandai - 太田 - 情報処理D - 住所録練習データ(2003 年用)